

**副 本**

令和3年(ネ)第165号 損害賠償請求控訴事件

控訴人兼被控訴人(一審原告) 伊東達也 ほか

被控訴人兼控訴人(一審被告) 国 ほか1名

### 控訴答弁書


令和3年3月14日

仙台高等裁判所第2民事部 御中


一審被告国訴訟代理人弁護士


樋 渡 利 美 

一審被告国指定代理人

富 岡 宏 


高 橋 朋 彦 


岩 下 弘 毅 






佐 藤 克 洋 

村 上 学 

伊 藤 伸 行 

本 田 拓 也 

落 合 利 昭 

江 島 茂   
関 本 亮   
齋 藤 友 晴   
伊 藤 駿 介   
安 斎 守 

## 第1 控訴の趣旨に対する答弁

- 1 一審原告らの本件各控訴をいずれも棄却する
  - 2 控訴費用のうち、一審原告らと一審被告国との間に生じた部分は、一審原告らの負担とする
- との判決を求める。

なお、本件につき仮執行の宣言を付することは相当でないが、仮に仮執行宣言を付する場合は

- (1) 担保を条件とする仮執行免脱宣言
  - (2) その執行開始時期を判決が一審被告国に送達された後14日経過した時
- とすること

を求める。

## 第2 一審被告国の主張

一審原告らの2021（令和3）年11月30日付け控訴理由書（責任論①一国の責任一）及び同日付け控訴理由書（損害論）については、追って必要と認める範囲で反論する。